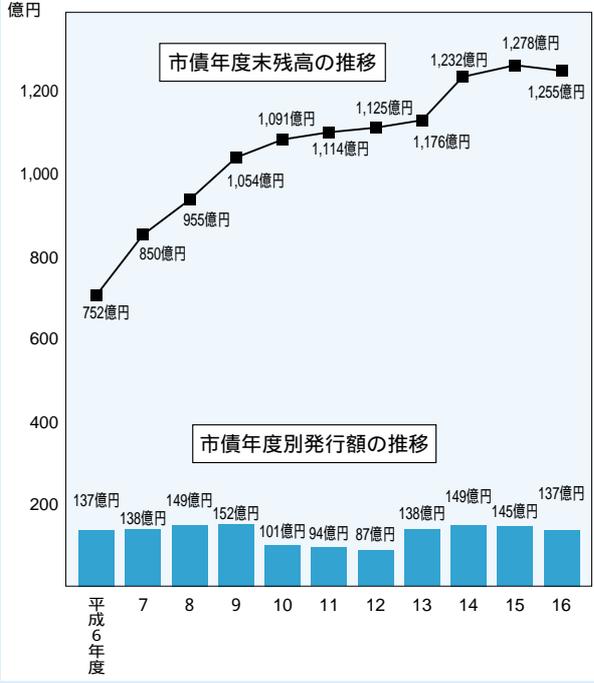




六供清掃工場でもダイオキシン対策

図1 過去10年の市債発行額と残高の推移



市債とは、市が負う長期的な借入金で、借り入れることを「市債の発行」または「起債」といいます。市債は、公共施設建設費の一部に充てるものと、臨時財政対策債や減税補てん債など

世代間の公平保つため

「市債」は重要ですよ

財源不足に対処するものに大きく分けられます。発行に当たっては、目的、限度額、利率などを予算に計上。また、発行できるのは県知事から許可された事業だけで、発行した市債は返済(償還)しなくてはなりません。返済に掛かる経費を公債費とい

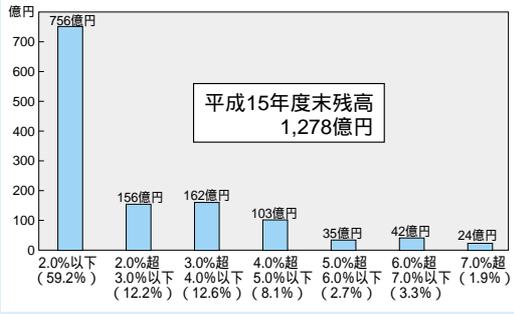
い、元金と利子に分かれます。世代間の公平な負担 公共施設を建設するためには、大きな経費が掛かります。この経費を、建設する年だけの市税収入で賄つと、その年の納税者

の皆さんには大きな負担。そこで、「世代間の公平な負担」との考え方から、将来の利用者にも経費を負担してもらつため、市債を発行し、何年もかけて返済します。そのため、市債を発行して行う事業は厳選しています。借入先 市債の借入先は、国が定める計画で決まっています。主に、「政府資金」「公庫資金」「銀行等引受資金」などがあります。

本市の市債残高 これまでに本市が発行してきた市債の残高は、昨年度末で千二百七十八億円。十年前に比べて五百億円以上増えています。これは、国の経済対策に伴う公共事業や、市立前橋、総合福祉会館、新最終処分場などの施設建設、清掃工場ダイオキシン類削減対策工事などを推進してきたためです。なお、過去十年の市債発行額と現在高の推移は図1のとおりで、本年度末の市債残高は、初めて前年度末を下回る見込みになりました。また、昨年度末の借入利率別の市債残高は図2のとおりです。現在償還(返済)中の市債は、利率

二・〇%以下のものが約六割と、比較的有利なものが多くなっています。発行は必要最小限に 市が行う建設事業だからといって、むやみに市債を発行すると、借金の積み重ねになります。また、返済する金額が増えるため、財政の健全性が損なわれ、将来の住民に大きな負担を掛けてしまいます。そこで、市債の発行に当たっては、予算編成において対象事業の厳選、元利償還金(公債費)に対する国の補てん措置などに十分注意を払い、総額を決めています。国の補てんも 市債には、返済費用の一部が地方交付税として交付されるものもあります。例えば、道路の整

図2 昨年度末における利率別市債残高の状況



何年もかけて返済する予定の市債を、まとめて返済することを「繰上償還」といいます。繰上償還をする場合、貸し手との協議で、本来貸し手が得るはずだった利子収入分を補償金として支払うことが必要。現在の制度では、繰上償還するメリットはほとんどありません。今後とも、適正な市債の管理に努めていきます。

繰り上げ返済 何年もかけて返済する予定の市債を、まとめて返済することを「繰上償還」といいます。繰上償還をする場合、貸し手との協議で、本来貸し手が得るはずだった利子収入分を補償金として支払うことが必要。現在の制度では、繰上償還するメリットはほとんどありません。今後とも、適正な市債の管理に努めていきます。

12

分かりやすい
ざいせい

inance

90 : 問い合わせは財政課 8